

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報							
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要				
神代植物公園			（指定管理者名）公益財団法人 東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。				
指定期間							
H28.4.1 ～ R8.3.31（10年間）							
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
神代植物公園			令和6年度	令和5年度	令和4年度	公園別支出額	
		項目	金額	金額	金額		
		収入 計	681,066	669,356	645,924		
		内 訳	指定管理料	681,066	669,356		645,924
			利用料金		0		0
			その他収入		0		0
		支出 計	686,729	660,311	620,760		
収支差	△5,663	9,045	25,164				
4 管理運営の概要							
【江戸園芸文化の保存・継承】 ウメやツバキ、ツツジなど古くから伝わる園芸品種をデータベースや植栽マップの作成により適切に栽培管理するとともに、開花期に合わせて特別企画展「錦繡の林なす江戸の華つつじ」を開催するなど江戸園芸文化の保存継承を進めた。 【植物多様性の保全】 絶滅危惧植物の生育状況調査や生息域外保全、学習園や情報館での展示、保全団体や専門家等との情報連絡会を実施するとともに、葛西臨海公園と連携した調査や野山北・六道山公園で希少種管理の助言を行うなど、東京の植物多様性保全に貢献した。 【魅力向上と情報発信】 新たに「パンパスウィーク＆秋の七草」を開催し一年を通じて花のキャンペーンを実施するとともに、夏季は大温室夜間公開を2日間から4日間に拡大し新規企画の「バブルミネーション」や室内での「みんなのピアノ」を実施した。また、神代植物公園公式インスタグラムを開設し、ライブ配信により催事や植物の見どころをリアルタイムで発信した。							
5 管理状況							
①維持管理							
■公園協会で樹木点検アプリを開発し、効率的に樹木点検を行い異常箇所は樹木医が診断を実施し、倒木等を未然に防止した。 ■大径木47本を倒木等防止のため剪定、切株46株を蹟き防止のため除去、マツ枯れやナラ枯れ防止の薬剤樹幹注入を計画的に進めた。 ■日比谷公園つつじ山再生事業に協力。栽培や普及に関する技術支援や苗木育成のための小石川植物園等からの穂木調達で貢献した。 ■さくらそう会との合同植替作業や技術交流など万全の品種保存体制により、猛暑の中サクラソウを良好に開花させ、園芸専門雑誌でも高い評価を受けた。 ■ツバキやツツジの全株調査を行いデータベースと植栽マップを作成。国際ツバキ協会の視察対応などを通じ、その価値を発信した。 ■神代の名を冠し世界中に広がったアスター「ジンダイ」が東京パークガーデンアワードで使用され話題に。当園から1985年にアメリカへ渡り命名された経緯を参加者らと解明し、当園で保存する個体も併せて展示し、38年ぶりの里帰りとWeb記事等で話題になった。 ■大温室乾燥地植物室で植物を移植し、成長に伴う被圧の解消と産地別ゾーニングに基づく植栽位置の修正、景観の改善を図った。 ■新規開園地のベンチ肘掛けが炎天下で高温となるため、遮熱塗装フィルムを貼り10℃以上の低減効果が得られ安全性を確保した。 ■御蔵島ほか島嶼部で優先保全対象種（全118種）のモニタリング調査を実施し、調査実績は111種に到達した。 ■葛西臨海公園のウラギクの調査や野山北・六道山公園のヤナギスブタに関する技術助言を行い、希少種保全に貢献した。							
②利用者への対応							
■日本植物園協会の専門家の協力を得て特別企画展「錦繡の林なす江戸の華つつじ」を開催し江戸を中心に発展を遂げたツツジの特徴や園芸文化等を最新の知見に基づき紹介し、自主事業で図録を作成し関係者への配布のほか171冊を販売した。 ■「雨の日のパノラマ散歩」を初開催。景色が楽しめる透明傘の貸出しがテレビ等で紹介され6月入園者は前年比22％増に。また、「パンパスウィーク＆秋の七草」を初開催し、パンパスグラスを飛び越える写真が撮れる「レンタル魔法のほうき」が話題になった。 ■世界三大ピアノのひとつペヒシュタイン社の協力で、グランドピアノを緑に囲まれた植物会館内に夏休み期間設置。猛暑の中、演奏者は計457人（1日平均20人）、満足度4.77（5点満点）と高評価で、継続を希望する多数の声が寄せられた。 ■新たに公式インスタグラムを開設。園長や職員のライブ配信を通じ話題を発信し、フォロワーは1年足らずで3,500人に到達した。 ■SNSで話題になった植物を題材に、その形を模した「パナマソウ麺」や「パンパスケーキ」、ショクダイオオコンニャクやツバキのチャーム等のオリジナル商品開発を監修し、商品が報道されさらに話題となった。 ■人気のサガリバナとオオオニバスの見ごろに合わせて、夜間公開を2日間から7月と9月の4日間に拡大。新企画のシャボン玉と光の演出「バブルミネーション」を実施し、8,500人（4日間）が訪れる、ニーズに応えた夜間イベントになった。 ■深大寺との連携を深め、境内で花展示を行うなど地域一体となって観光客誘致に取り組み、深大寺の協賛を得て、サポーター基金で寺やそば店を含む新たな観光マップを作成し、園外で約2.5万枚配布した。 ■国立天文台と連携した星空観察を年3回開催し、毎回のアンケート結果に基づき園路照明の追加やスピーカーのレンタルによる音響の強化、冬季の寒さ対策などのブラッシュアップを重ねたことにより、参加者250人以上で満足度100％のイベントになった。 ■当園を中心に都内の自然や植物を紹介する新聞のコラム「東京マイガーデン」の連載が始まり、これまでにバラやバラグアイオニバス、サクラソウなど4回掲載され、次回掲載の問合せが来るなど好評を得た。 ■調布市との風水害時における協定書に基づき通信訓練を行うとともに、8月の台風時に園地を要配慮者専用駐車場として開放した。 ■調布市や自治会、消防署、警察署、自衛隊、獣医師会、ボランティア等と連携し、「防災フェスタ」を開催。防災クイズガチャや車いす乗車支援体験を初開催するなど多彩なコンテンツにより楽しみながら災害対応力を向上した。 ■植物多様性センターの楽しみ方やWeb情報も掲載した新たなパンフレットを作成、配布したほか、月刊ニュースレター「おとしぶみ」を23か所増の120か所に発送し認知度を向上した。 ■好評につき2度開催した講座「植物図鑑を使いこなそう！」をはじめニーズに応えた講座を実施。東京都立大牧野標本館と合同の「標本をもっとつこう！」（全2回）は、標本の意義や作成方法の講義が参加者から高評価を得た。 ■「みんなで守ろう！日本の野生ランシンポジウム」を初めてWeb併用でハイブリッド開催し、高知や鹿児島からも参加があった。							
6 利用者アンケート結果							
実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート							
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応		
神代植物公園	4.8	4.6	4.6	4.7	4.6		
7 入園者数の状況（単位：人）							
施設名	当該年度	分析					
神代植物公園	702,481	江戸園芸植物をはじめ貴重な植物コレクションを活かして植物展示の充実を図るとともに、一年を通じて花のキャンペーンや新たに開設した神代植物公園公式インスタグラムによるライブ配信などの魅力発信を進めた。また、深大寺と連携し地域一体となって観光振興を図った。記録的な猛暑に対し夜間公開の拡充や室内での「みんなのピアノ」開催などにより快適な利用環境を提供した。これらの取組により、来園者数は昨年度よりも5.2％増加し、70万人を突破した。					
合 計	702,481						



神代植物公園

江戸園芸文化と植物多様性を
次世代へ伝える



所在地：調布市／開園面積：51.4ha

植物公園の魅力を高める多彩なイベントの開催



夜の植物公園の魅力を 伝えるイベントを拡充

人気のサガリバナとオオオニバスの見ごろに
合わせ夜間公開を2日間から7月と9月の
4日間に拡大。新企画「バブルミネーショ
ン」の演出を実施し、8,500人（4日間）
が訪れる、ニーズに応えたイベントに。



枝一面に咲いた一夜限りの花、サガリバナ



話題性のある催事を 途切れなく開催

新たに「雨の日のパノラマ散歩」を実施。景
色が楽しめる透明傘の貸出しがテレビ等で
紹介され、6月入園者は前年比22%増。
初開催の「パンパスウィーク&秋の七草」は、
「レンタル魔法のほうき」がSNSで話題に。



地元、深大寺の協力で撮影「魔法のほうき」



緑に囲まれた環境の中、 企業連携でピアノを設置

世界三大ピアノのひとつベヒシュタイン社
の協力で、グランドピアノを緑に囲まれた
植物会館内に夏休み期間設置。猛暑の
中457人（1日平均20人）が演奏し、継
続を希望する多数の声が寄せられた。



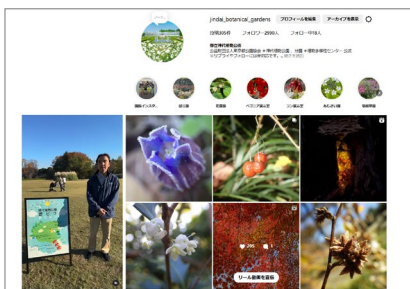
夏休み期間中開催した「みんなのピアノ」

植物公園の魅力を伝える広報・PR活動の強化



Instagramを開設し、 若い世代に魅力を発信

新たに神代植物公園公式Instagramを
開設。園長や職員によるライブ配信を通じ、
催事や植物の話題をリアルタイム配信。
フォロワーは1年足らずで3,500人に到達



Instagramのライブ配信で話題提供



地域一体となった観光地 として魅力を発信

深大寺との連携を深め、境内で花展示を
行うなど観光客を誘致。深大寺の協賛と
サポーター基金で寺やそば店を含む新たな
観光マップを作成し園外で2.5万枚配布

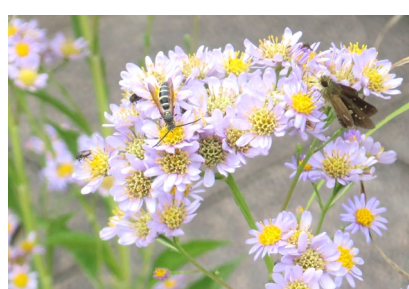


一日中楽しめる！地域観光マップ



38年振りの里帰り、 アスター'ジンダイ'公開

「ジンダイ」の名を冠して世界中に広がった
矮性のシオンが東京パークガーデンアワード
で話題に。当園から1985年にアメリカへ
渡り命名された経緯を参加者らと説明



アスター'ジンダイ'の親株



江戸園芸文化の保存・継承

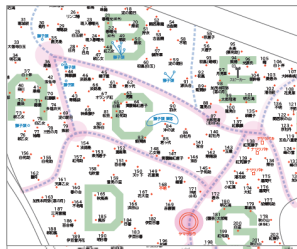


きめ細やかな栽培管理により、貴重な伝統園芸植物を保存・継承

さくらそう会との合同植替作業など万全の保存体制により、**猛暑の中サクラソウを良好に開花**させ、園芸専門雑誌でも高評価。また、ツバキやツツジの**全株調査を行いデータベースと植栽マップを作成**。国際ツバキ協会の視察対応などを通じ、その価値を発信



サクラソウの合同植替作業



ツバキ植栽マップ（部分）



特別企画展「錦繡の林なす江戸の華つつじ」を開催

江戸を中心に発展を遂げたツツジの特徴や園芸文化を**最新の知見に基づき紹介**し、自主事業で制作した図録を171冊販売。また、日比谷公園つつじ山再生事業に協力。図録をもとにした技術支援や苗木育成のための小石川植物園等からの穂木調達で貢献



ツツジに関する特別企画展



小石川植物園での穂木調達

植物多様性の保全に関する取組



希少種保全に向け、モニタリング調査と技術助言

御蔵島等で優先保全対象種（全118種）のモニタリング調査を行い、**調査実績は111種に**。葛西臨海公園のウラギクや野山北・六道山公園のヤナギスプタに関する技術助言を行い**希少種保全に貢献**



御蔵島でのモニタリング調査（シマキンレイカ）



ニーズに応えた講座で植物多様性を広く普及

好評につき2度開催した講座**「植物図鑑を使いこなそう！」**などニーズに応えた講座を実施。東京都立大牧野標本館と初開催の**「標本をもっとつくりよう！」（全2回）**は、標本の意義や作成方法の講義が高評価



講座「標本をもっとつくりよう！」



より親しまれる、植物多様性センターへ

楽しみ方やWeb情報も掲載した**新たなパンフレットを作成、配布**したほか、ニュースレター「おとしぶみ」を23か所増の120か所に発送。新たに**地元調布市の「サマーボランティア」**を受け入れ、協働の機会を拡大



植物多様性センター新パンフレット

地域と連携した防災の取組



災害時における自治体との相互連携を強化

調布市や自治会、消防署、警察署、自衛隊、獣医師会、ボランティア等と連携し、「防災フェスタ」を開催。**防災クイズガチャや車いす乗車支援体験を初開催**するなど、多彩なコンテンツにより楽しみながら災害対応力を向上。また、調布市との風水害時における協定書に基づき、通信訓練を行うとともに、8月の**台風時に園地を要配慮者専用駐車場として開放**



防災フェスタ（防災クイズガチャ）



調布市との防災無線訓練